勿来高校・くぼた校

保健体育による交流及び共同学習「ボッチャ」

11月27日（火）勿来高校・くぼた校合同による保健体育の授業で「ボッチャ」を行いました。勿来高校は1年2組、くぼた校は1、２年生が両校生徒の障がい者スポーツへの理解と技術の向上を目指して取り組みました。ボッチャはパラリンピックの競技にも採用されており、障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが楽しく取り組めるスポーツです。

試合当日までは、各校の保健体育の授業でそれぞれに練習を行い、当日を迎えました。当日は勿来高校・くぼた校の合同チームによるトーナメント戦を行いました。生徒たちはゲームを進めるごとにボール操作が上達し、お互いに投球を称賛し合う姿も見られました。これからも交流をとおしてお互いを理解し合い、かかわりを深めてほしいと思います。

事前指導

くぼた校教師による講義

ルールの確認

ボッチャ実践

交流及び共同学習

大会の説明

自己紹介

試合

ボッチャについて

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ６球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングのように相手のボールを弾いて、自分が優位に立てるように位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略で魅力ある競技です。

１９８４年からパラリンピックに採用され、２０１６年リオデジャネイロパラリンピックで、日本チームは銀メダルを獲得しました。